



Weekly News

龍ヶ崎中央ロータリークラブ

2012.05.18

No.00702

R I District 2820 CLUB 50504

会 長：城出鴻二郎 幹 事：横澤啓二 連絡先：TEL 0297-66-3258 FAX 0297-66-3280 <http://rcrc.web5.jp>
 事務所：〒301-0032 茨城県龍ヶ崎市松葉 5-12-6 例会場：〒301-0857 茨城県龍ヶ崎市泉町 1592-77 (ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)



本日のプログラム

【通常例会 05.18】
 「クラブ協議会①」
 次年度各委員会

次回のプログラム

【通常例会 05.25】
 「クラブ創立記念」
 親睦委員会

5月の主な行事：なし

第701回例会報告

点 鐘：城出鴻二郎会長
 ローターソング：それでこそロータリー
 ゲ ス ト：なし
 ビ ジ タ ー：なし

会長報告：城出鴻二郎



■このところ天気の変常さはどこまで進むのか、単に異常気象とはいつてきましたが、ついにアメリカ並みに竜巻も日常的になったようで、台風もハリケーンと言

うほうが良いようですから、このままでは、まさに大陸的な気候変動になりつつあるようです。今回の竜巻は一昨年でしたか、竜ヶ崎の竜巻より遙かに規模が大きく、穴痔規模がおきていけば、会社の試験室や会員各位の事業所も被害にあったかもしれません。お月様も、以上に大きく、これは違いますが、でもこんな多きなのは見た記憶も少ないようで、満月はきれいなようで、気味が悪いかとも考えたりで、複雑です。どちらにしても、日本は四季折々の風情があつて過ごし易い自然に恵まれた国というところから、過酷な自然環境にもまれる風前の灯の国になりつつあるということになりそうです。電気もだめ、水もだめ、当然水産、農業もだめ、地震も何時くるかわからず、津波が来なくても洪水には見舞われる、いたるところに芳醇なセシウムがたなびいていて、でも、その分遅くなるのならよしとしますか。

■今月 25 日に水海道ロータリークラブさんからメークアップに何人かのロータリアンがお出でになります。よろしく歓迎の程お願いいたします。プログラム上はクラブ創立例会になります。クラブで募集

をかけてお出でになるとか、会長幹事以下数名かと思ひます。

■今週火曜日社会福祉協議会の理事会と総会が開かれました。ボランティア連絡協議会の決算、予算、事業計画について審議がありました。その中で、15周年記念誌をいただきました。と言うより、実際は2009年のものですが、逆に20周年の記念事業の計画承認で、15周年記念誌の話しになり、見たこと無い・・・で配布に成りました。当クラブが関わって作りました市役所の記念石碑が最初に掲載されています。この記念誌見た会員さんはいますでしょうか。回覧いたします。

幹事報告：横澤啓二



■インターアクト年次大会報告が来ました、回覧いたします。

■本日例会後定例の理事会を開催いたします。

本日のプログラム

地区協議会報告

■次年度方針 野堀喜作 G E

第 2820 地区目標

①奉仕を通して平和の具現化

②強いクラブ・元気なクラブを創る

(変化と柔軟性を育てる)

③職業奉仕の研修と強調

④クラブと地区における長期計画の立案

⑤会員の増強と維持

(2015年までに各年3%ずつ増強・特に女性会員の増強をめざす)

⑥会長賞・地区平和賞にチャレンジしよう

⑦ポリオを撲滅する

⑧未来の夢計画のスタートの為の研修

⑨ロータリーのイメージとブランド認知

⑩寄付の数値目標

- 1.ロータリー財団への寄付 130 ドル
- 2.ベネファクターを含め、恒久基金 1,000 ドル以上クラブ 1 名以上
- 3.米山記念奨学会へ 25,000 円/人

■会長・幹事

Pets の内容と同じで、職業奉仕に関する記憶に残るような内容はなかったように思います

トピックとしては、2013 年度から全地区に適用される財団の未来の夢計画が強調されていたように思います。次年度はこのプログラムについての準備期間となります。



ガバナー公式訪問は 9/28 日金曜日の予定になっています。昨年同様守谷クラブと合同で行う予定ですが、二つのクラブでどのように進めるか、検討したいと思います。また、どのクラブもクラブ会費について考えているようで

新会員については、初年度は毎月 1 万円の会費で次年度からは通常の会費になるというクラブがありました。年会費 15-20 万円のクラブが多かったように思います。当クラブも一度会費を下げっていますが、会員維持するためにさらなる検討も必要かと思われます。

■会員組織委員会

1.会員組織はほぼ会員増強に終始するも、必ずしも的確ではない。資料ではそれなりの分析がなされているが、地区関連の対応が無く、終始クラブに解決を求めている。例として言えば、会員減少の問題点、強調文字ではロータリー情報不足、理解不足が会員の失望感を高めていると分析しているにもかかわらず、地区でのロータリー情報への取り組みが皆無。同様にロータリーの理解教育面の不足が問題の根源として見えているにもかかわらず、会員増強にまったく違うテクニックを推奨している。結論的には分析の評価と活用とに相当のずれと正面からの取り組みがまったく検討されていない。説明資料の読み込みも重要かと思えるが、本筋を外している点が致命的。

3.広報関連にあつては、従前のロータリー情報館の継続であるものの、その内容に関しては機能していないために、再考の必要がある。提供情報がロータリーの本質から外れている場合が多く、掲載条件の整理が新聞側、ロータリー側で共に必要。元々の企画に無理があることが露呈している。

4.地区 HP 関連・今年度よりは少しまともに運営でき

る可能性はあるものの、テクニカルな側面とロータリーの本質との違いや調整が出来るか、今後の展開によると思われる。クラブが必要とする情報と、関係者が入手できる情報の間の落差をどこまで認識できるか。提供すべき情報をクラブに頼る姿勢では、クラブが必要とする情報の反映は出来ない。

■クラブ管理委員会

- 1.委員長の意気込みは多とするが、管理運営と会員組織の境界を認識するには少し足りないようで、あえてクラブ奉仕全体として承ることとする。
- 2.前年来テーマとして「クラブの魅力」を基本としているが、クラブの魅力の条件に地区や RI が入っていないことに気がついていないようで、先の増強に関する分析での主因の読み違いも含めて、委員会的が少しずれている。
- 3.クラブ奉仕の基本について委員会内部でどのように消化したのか、CLP 組織として整理整頓をしないままに、新しい会員組織とクラブ管理に移行している。
- 4.因みに多くのクラブは CLP や DLP に関係なく、必要な組織編制や取り組みを実践しており、その善し悪しは別にしても、地区の多様な説明はクラブの求めにフィットしていないと思われる。
- 5.地区はクラブ奉仕の本質をもう一度整理し、説明の機会と、必要なロータリー情報の教育的機会の増進を図るべきと思われる。
- 6.この数年地区委員会の有り様は急激に低下しており、他の奉仕部門のような判り易さの無い分だけ迷走、脱線しているようで、救いがたい状況にあると思われる。

■社会奉仕委員会

午前中は、本会議が、時間通りに進行されました。その後、分科会会場にて、食事をして 13 時から各分科会会場にて開催されました。

私は、社会奉仕委員会を担当しました。最初に、地区の役員、委員の紹介があり、第 I セッションとして、担当カウンセラー 内藤 彰パストガバナーから、社会奉仕の概念について説明をして頂きました。次に、総括委員長 保延 輝文委員長より、社会奉仕の役割、責務についての説明をして頂きました。第 II セッションとして、奇数分区の 4 クラブの各委員長さんが、社会奉仕の現在の事業についての説明がなされました。最終にロータリー財団地区補助金について、担当カウンセラーの木内 洋一委員長より説明をして頂きました。

■国際奉仕

世界社会奉仕、国際共同交流、青少年交換
国際共同交流・タイとの交流第 3350 地区との関係
WCS「この指とまれ」事業推進について。

「未来の夢」計画に移行することから、慎重にクラ

ブ判断がなされる必要があるが、地区の説明は必ずしも的確とはいえない。
相変わらずの地区指導型であって、クラブの自主的活動に目が向かない。

研究会等日程

8/2 国際奉仕セミナー 12/2 国際奉仕セミナー

■ロータリー財団

●財団寄付・ポリオ寄付

1.クラブ寄付目標の提出のお願い

2.財団寄付 110ドル+ポリオ 20ドル計 130ドル ベネファクター1,000ドル1名

3.7月28日に財団セミナーを開催。

4.5月19日の「未来の夢」計画による14年度以降の変更が必要。

●地区補助金説明国際親善奨学生

1.積極的な補助金の活用を検討願いたい。人道的奉仕にかぎる。

2.13年度で制度が変わる。13-14年度では、新制度に移行する。

3.新制度では今年度後半で、切り替え準備がスタートする。

4.5月19日の「未来の夢計画」特別研修セミナーで詳細をお知らせできると思う。

5.DDFの用途配分が変わるので、十分に研究願います。

6.補助金の制度説明・別紙記載、実績等 特に申請条件について十分に検討が必要。

7.是非補助金申請を出してもらいたい。予定、計画でもかまわない。5月15日まで。

8.資金は 28,400ドルの予定地区補助金の締め切りもあって早急に予定を申請してほしい。実施等とは別途でも良い。

●国際親善奨学生、財団学友

1.教育から人道支援に移行している。2007年に財団使命の設定

2.115カ国 39,000人の奨学生

3.派遣計画が変わることから今年度は検討中

4.学友・GSE および奨学生がメンバー・そのクラブでの活用につて

5.学友の活用として・システム変更による留学先の選定とサポート役

6.実際にシステムが移行すると海外への留学が激減し、国内留学に収斂する可能性が高く、その有り様が問われると思われる。

●GSE 派遣

1.2013年3月24日から1ヶ月派遣テキサス州 25から40歳範囲、推薦と派遣後も就業継続が必要。

日本人として相応しい事。

健康・タフネスでも有る事。強調性が重要。

決め方に苦労してきた経緯がある。

2.メンバー4名の選定募集・テキサス州第5830地区に派遣の予定。アーカンソー、オクラホマも含む・来年2014年派遣 7月1日から31日募集別紙案内
3.受け入れは2013年4月24日から1ヶ月偶数分区の受け入れ予定。次年度が今のプログラムでは最後になるが、新しい制度は未定。

●米山奨学会、

寄付増進、クラブ委員長の役割、ホームカミングプログラム、広報ツール、地区の役割、その他説明

寄付・5,000+20,000=25,000が目標です。
奨学生選考、奨学生と教員コミュニケーション、応募者に対するオリエンテーション

本日出席状況

会 員	20名	出席率	60.00%
出 席 者	9名		
出席免除者	2名	Make-up	3名
(定款第9条3節a)	1名	米島、小林、椎塚会員	

ロータリー豆知識

《 国際大会 》

(亀尾会員)

RIの国際大会は、毎年会計年度の、最後の3ヶ月中に開催されます。

国際大会の主たる目的は、国際レベルに於いて、全ロータリアン、次期クラブ会長、国際ロータリー及びロータリークラブの次期役員を鼓舞激励して情報を与える。これによって地区レベル、クラブ・レベルに於けるロータリーの発展を活発に推進しようとする意欲を起こさせようとするものです。国際大会は、ロータリー家族の世界的会合でもあり、国際大会の本来の目的を減じない範囲で、社交及び余興プログラムでロータリーの親睦を祝います。

ニコボックス (目標額 600,000円)

本日 4件 6,000円 (本年度累計 397,000円)

海老原会員：今のところ、おだやかな日です。

城出会員：今日もたつまきが来るかな？

横澤会員：最近、皆ヒマになったせいか、やたらと同窓会、同期会、OB会が多くて困っています。

横山会員：天気も不安定、ロータリーも不安定ですかね。

例会の欠席は、水曜日 AM:10:00 までに川上副SAA TEL 090-3497-0383 に連絡して下さい。

会長メッセージ

ロータリーの兄弟・姉妹の皆さん、

私たちが会員増強に関して話をする時、ロータリークラブへ新会員を迎えるということは私たちの仕事の始まりにすぎないことを誰もがよく理解しています。新しいクラブ会員を献身的なロータリアンに変えるためにはより多くのことが必要です。そして、その第一歩は新会員の参加意識を高めるよう手助けすることです。

クラブでの役割を持つ

すべてのロータリークラブに所属するすべてのロータリアンは、おのおのが単に必要とされているだけではなく、頼りにされている、ということを知るべきです。一人ひとりのロータリアンが、クラブでの役割を持つべきです。結局のところ、私たちはなぜロータリーにいるのでしょうか。私たちは良い方向に変化をもたらすためにここにいるのです。

そうです。私たちは、ロータリーの奉仕を楽しんでいます。しかし、私たちは、それだけの理由で、いつもいつもロータリーを優先させることはできません。

自分たちが影響を与えることができる、生活を改善することができる、という認識を持つことは、他の仕事よりロータリーの活動を優先させることにつながります。他人を助ける新しい方法を見つけること、そして、私たちができる限りすべての良い変化をもたらすために——どんなに長くロータリーに在籍していようと、私たちすべてが、常にロータリアンとして成長するように努めなければいけない理由がここにあります。このためにも、それ以外のためにも、ロータリーの奉仕を価値あるものにするのです。

クラブや地区の枠を超えた活動

新会員であっても、古い会員であっても、私たちはクラブレベルや地区レベル、さらにはそれらの枠を超えたところで、ロータリーの奉仕活動により深く関わる方法を見出すことができます。「ロータリアン行動グループ (Rotarian Action Groups)」は、共通の目的のために、世界中のいろいろな地域から集まったロータリアンと一緒に活動をするという方法で、仕事上の専門知識や活動への興味を注ぎ込む

絶好の機会です。皆さんの情熱の対象が「飲み水」「公衆衛生」「マイクロクレジット」「失明防止」だとしても、「歯科技術」としての専門性を生かしたボランティアや「輸血の仕組みを組織化する」の手伝いであっても、それらの機会を生かせるのが「ロータリアン行動グループ」です。もし、自分が希望するものがない時は、それを皆さんご自身が結成してみたいかがでしょう。「ロータリアン行動グループ」については、国際ロータリーのウェブサイト www.rotary.org/actiongroups で、より詳しく知ることができます。

奉仕には時間が必要

ロータリーは提供できる多くのものを持っています。一般の人々に自分たちの組織が素晴らしい組織であることを知らせ、ロータリーを自らの暮らしにどのように融和することができるかを人々に示すのは、私たち自身にかかっています。奉仕活動には時間が必要です。そして今日、その時間は、誰もが十分に持っているわけではありません。ですから私たちはロータリーとともに過ごす全ての時間には価値があり、報われるもので、決して無駄なものではないことを保証する必要があります。

私たち自身と私たちのクラブに手を差し伸べる時、私たちが有能で、その力を活用する術を学んだ時、私たちはこれまでにないくらい地域社会を向上させ、同時にロータリーそのものも向上させているのです。

奉仕活動は個人が決める

ロータリーは、クラブを基礎としてきた組織です。国際ロータリーの目的は各クラブに指揮、命令するためのものではありません。クラブをつなぎ、情報を伝え、支援するための存在です。それぞれのクラブやそれぞれのロータリアンが、どこで、どのような奉仕活動を選択するかは、結局のところ、自分たちが決定することです。ですから、皆さん、ご自身の意図やビジョンに従ってください。あなたの目を世界でのチャレンジに向けて見開き、ロータリーで身に付けた強みを使ってください。「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」を実践することで、私たちそれぞれは大きな可能性を秘めているのです。

KALYAN BANERJEE
PRESIDENT, ROTARY INTERNATIONAL